

花き花木 植物成長調整剤一覽

2020年7月1日現在

作物名	薬剤名及び剤形	有効成分及び含有率 (%)	使用目的	使用方法
キク	エスレル10	エテホン 10	開花抑制	全面散布(株全体がぬれる程度)
	オキシベロン粉剤 0.5	インドール酪酸 0.5	さし木の発根促進及び発生根数の増加	さし穂基部(切り口から約1cm)に粉衣
	オキシベロン液剤	インドール酪酸 0.4	さし木の発根促進及び発生根数の増加	さし穂基部浸漬 さし穂全体浸漬
	ジベレリン	ジベレリン 錠剤 4.55 粉末 3.1 液剤 0.5	開花促進、草丈伸長促進	茎葉散布
	ビーエー液剤	ベンジルアミノプリン 3	親株栽培における側枝への腋芽の着生促進	茎葉散布
キク (ポットマム) (施設栽培)	キクエモン	ダミノジット 85	節間の伸長抑制	茎葉散布
	ビーナイン顆粒水溶剤	ダミノジット 80		
キク (ポットマム)	スミセブンP液剤	ウニコナゾールP 0.025	節間の伸長抑制(矮化)	茎葉散布 土壌灌注
キク (切花用) (施設栽培)	キクエモン	ダミノジット 85	節間の伸長抑制	茎葉散布
	ビーナイン顆粒水溶剤	ダミノジット 80	花首の伸長抑制	
カーネーション	オキシベロン粉剤 0.5	インドール酪酸 0.5	さし木の発根促進及び発生根数の増加	さし穂基部(切り口から約1cm)に粉衣
	オキシベロン液剤	インドール酪酸 0.4	さし木の発根促進及び発生根数の増加	さし穂基部散布 さし穂基部浸漬
アイリス	ジベレリン	ジベレリン 錠剤 4.55 粉末 3.1 液剤 0.5	生育促進	球根浸漬
カラー			生育促進	茎葉散布、球根浸漬
スパティフィラム			開花促進	茎葉散布
トルコギキョウ			生育促進	茎葉散布
花き類			発芽促進	種子浸漬
アザレア			開花促進	茎葉散布
アザレア(施設栽培)	ビーナイン顆粒水溶剤	ダミノジット 80	節間の伸長抑制	茎葉散布
シクラメン	ジベレリン	ジベレリン 粉末 3.1 液剤 0.5	開花促進	花蕾を含む芽の中心部に散布
プリムラ (マラコイデス)			開花促進	株の中心部に散布
ミヤコワスレ			開花促進、草丈伸長促進	葉面散布
シラン				株浸漬
テッポウユリ (促成栽培)			休眠打破	球根浸漬
リンドウ			生育促進 発芽促進	茎葉散布、切株散布 種子浸漬
チューリップ (促成栽培)			ジベレリン	ジベレリン 液剤 0.5
チューリップ	オキシベロン液剤	インドール酪酸 0.4	花茎基部の伸長 肥大促進	ホルクロフェニロン液に加用 葉筒内に滴下
サツキ (施設栽培苗)	ジベレリン	ジベレリン 錠剤 4.55 粉末 3.1 液剤 0.5	茎の伸長促進 花芽分化の抑制	頂芽に十分散布
ポインセチア	スミセブンP液剤	ウニコナゾールP 0.025	節間の伸長抑制(矮化)	茎葉散布
ポインセチア (施設栽培)	ビーナイン顆粒水溶剤	ダミノジット 80	節間の伸長抑制	茎葉散布
ハボタン (施設栽培)				
ベチュニア (施設栽培)				
アサガオ (施設栽培)				
ハイドランジア (施設栽培)				
ホオズキ	エスレル10	エテホン 10	着色促進	果実散布 (果面がぬれる程度)

作物名	薬剤名及び剤形	有効成分及び含有率 (%)	使用目的	使用方法
マメツゲ、ツバキ類、 ベゴニア	オキシベロン粉剤 0.5	インドール酪酸 0.5	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部（切り口から約 1 cm）に粉衣
イヌツゲ	オキシベロン液剤	インドール酪酸 0.4	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部浸漬
ツツジ類（鉢栽培）	スミセブン P 液剤	ウニコナゾール P 0.025	節間の伸長抑制（矮化） および着蕾数増加	茎葉散布
ドウダンツツジ	オキシベロン液剤	インドール酪酸 0.4	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部浸漬
キンボウジュ				
カイヅカイブキ				
ヒマラヤシダー				
樹木類（スギ、ヒノキ、イヌ ツゲ、カイヅカイブキ、キンボウ ジュ、ツツジ類、ドウダンツ ツジ、ヒマラヤシダーを除く）				
花き類・観葉植物 （カーネーション、キク及びビュ ーリップを除く）				
ヤマモモ（緑化木）	バウンティフロアブル	バクトプロラゾール 21.5	新梢伸長抑制及び整 枝・剪定軽減	土壌灌注
アベリア				
トウカエデ				
イヌツゲ				
樹木類				
花き（キク、ゼラニウム等） 庭園樹（マサキ、シンチョウ ゲ、アサギ等）林木（スギ、 ヒノキ、マサキ等）	ルートン	1-ナフチルアセトアミド 0.4	挿木（挿苗）時処理し て発根を促進する	1) 挿木(挿苗)の基部を 3cm ぐ らい水にひたしその部分にう すい層になって付着する程度 に粉のまままぶす。 2) 或いは本剤を適量の水で ペースト状にねってから挿木 の切口にぬりつける。日陰干で 乾燥してから挿す。この場合挿 木(挿苗)にあまり多量に厚く 塗布しないようにすること。上 記の方法で処理し挿しおわっ たら周囲に土をかけてよく固 めておくこと。

注) 上記の薬剤を使用する際は、必ず薬剤の使用方法を確認の上、ご使用ください。